

■ 令和元年度 人間市水道事業報告(総括事項) ■

● 業務概況 ●

本年度は、年間を通して安定給水を図ることができました。

年度末における給水戸数は67,817戸、給水人口は147,482人となり、配水量は、16,557,850^mで、前年度に比べ13,730^m (0.08%)の減少となりました。有収水量は、15,577,009^mで、前年度に比べ135,542^m (0.86%)減少し、有収率は94.08%、鍵山浄水場における自己水確保率は18.18%となりました。

● 収益的収入・支出 ●

財政状況については、水道事業収益が3,109,615,582円(税抜額2,892,727,557円)で予算現額3,169,649,000円に対して98.11%の執行率となりました。

このうち水道事業の主財源となる給水収益は2,592,581,748円(税抜額2,388,146,954円)と前年度に比べ20,158,318円の減となりました。

一方、水道事業費用については、2,713,951,922円(税抜額2,554,965,636円)で、予算現額2,849,903,000円に対し95.23%の執行率となりました。

以上の結果、水道事業収益(税抜額)から水道事業費用(税抜額)を差引き、当年度純利益として337,761,921円を計上することができました。

● 資本的収入・支出 ●

建設改良工事を主な目的とする資本的収入・支出では、扇台土地区画整理地内配水管布設工事、人間市道D230号線配水管布設替工事等を実施しました。継続事業として平成30年度から実施してきた鍵山東金子線送水管整備工事(第二工区)については工事を完了し、また、令和2年度までの継続事業として鍵山東金子線送水管整備工事(第六工区)、西武支所線バックアップ管整備事業、人間ヶ丘団地内配水管布設替工事(第二工区)については、引き続き実施していきます。

執行状況については、収入額が347,662,798円で、予算現額495,091,000円に対して70.22%の執行率となりました。

支出額は1,018,528,579円で予算現額1,724,550,000円に対して59.06%の執行率となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額670,865,781円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

■ 給水人口と年間総配水量 ■

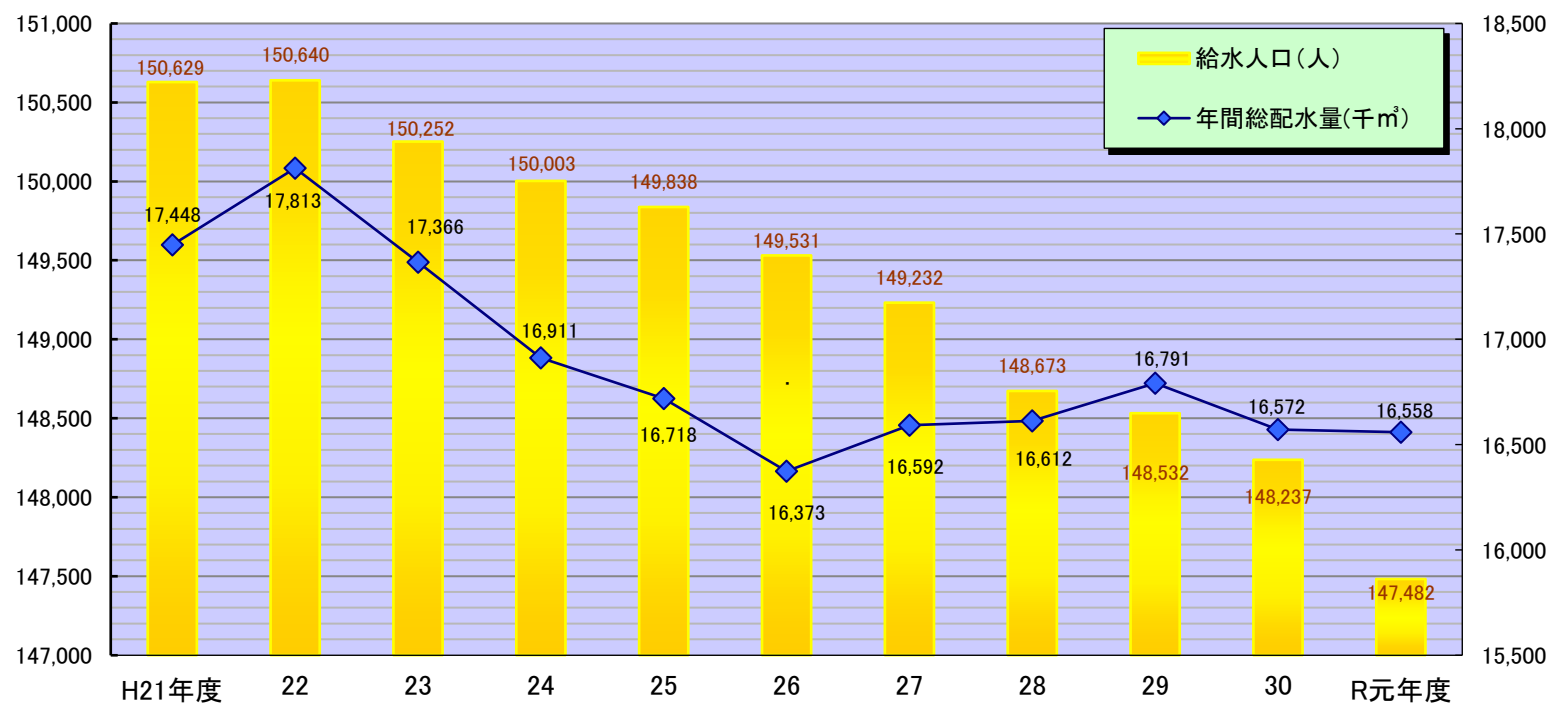
● 給水人口とは・・・●

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいいます。

● 年間総配水量とは・・・●

配水場や浄水場から送り出された水道水の全水量をいいます。

給水人口と年間総配水量の推移



■ 年間総配水量・年間有収水量・有収率 ■

● 年間総配水量とは・・・●

配水場や浄水場から送り出された水道水の全水量を表しています。

● 年間有収水量とは・・・●

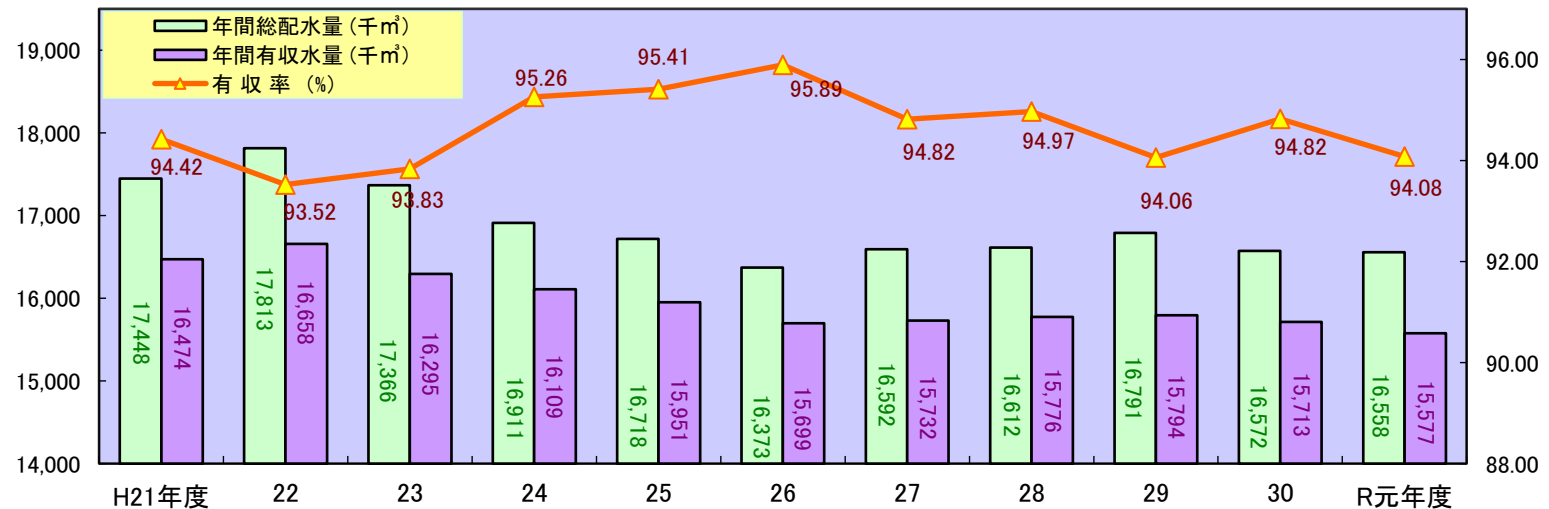
お客様のご家庭や工場で使用され、料金収入を得ることのできた水量を表しています。
料金収入にならないものを無収水量といい、漏水や水道事業用に使われた水などが該当します。

● 有収率とは・・・●

有収率 = 有収水量 ÷ 年間総配水量 × 100

水道水全体のうち、有収水量の率を表すものです。

年間総配水量・年間有収水量・有収率の推移



■ 給水原価と供給単価 ■

● 給水原価とは・・・●

お客様にお届けする水道水1m³あたりについて、どれだけ費用がかかっているかを表しています。

給水原価 = {経常費用 - (受託工事費 + 材料及び不用品売却原価 + 附帯事業費) - 長期前受金戻入} ÷ 年間総有収水量

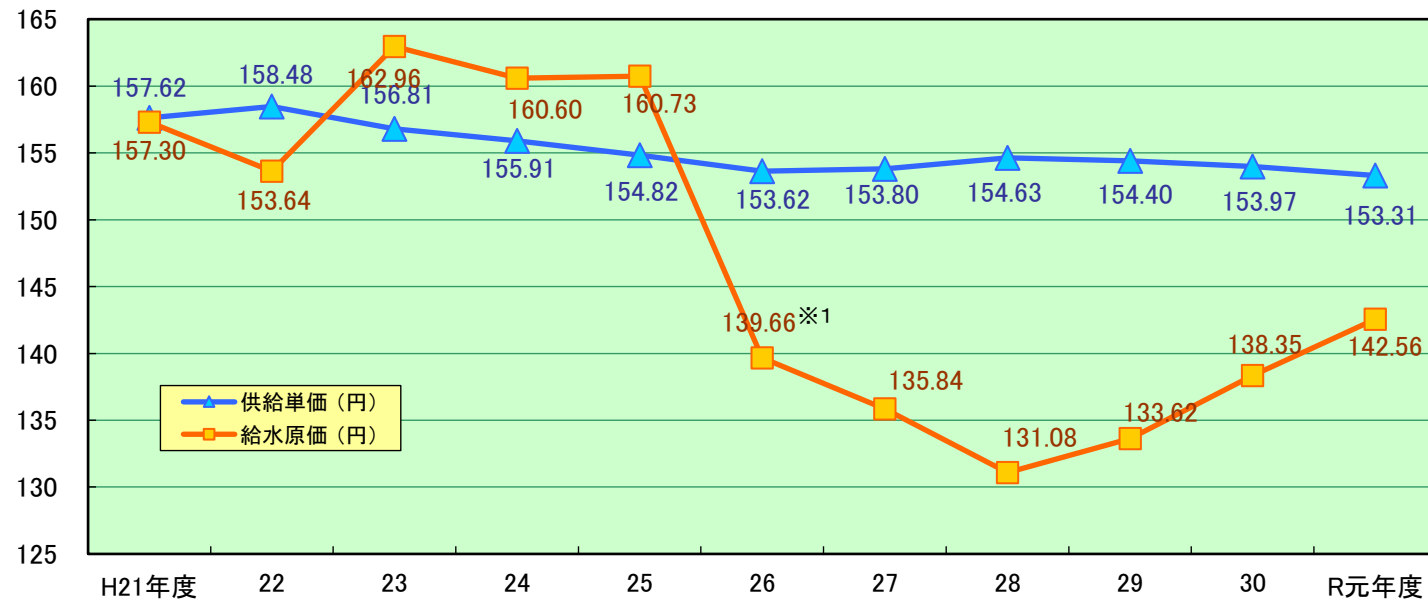
※1 地方公営企業会計制度の改正に伴い、給水原価の算出式が変更となり、平成26年度の決算書の記載数値より変更となっています。(平成26年度決算書数値 160.83)

● 供給単価とは・・・●

お客様にお届けした水道水1m³あたりについて、どれだけ収益を得ているかを表しています。

供給単価 = 給水収益 ÷ 年間総有収水量

給水原価と供給単価の推移



■ 給水契約数(口径別) ■

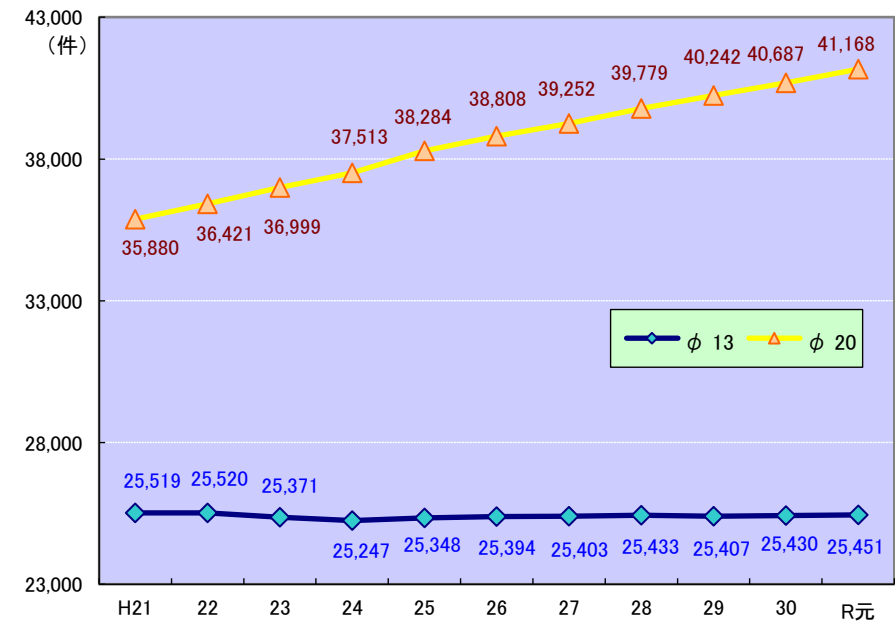
● 口径 13mm と 20mm の 給水 契約 数 の 推 移 ●

一般家庭が主に使用している量水器の口径は、13mmと20mmです。
最近では20mmの契約者が増加傾向にあります。

口径別給水契約数 (単位: 件)

年度	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元
φ 13	25,519	25,520	25,371	25,247	25,348	25,394	25,403	25,433	25,407	25,430	25,451
φ 20	35,880	36,421	36,999	37,513	38,284	38,808	39,252	39,779	40,242	40,687	41,168
φ 25	692	688	684	687	680	682	684	693	692	703	697
φ 30	141	147	147	148	151	148	146	151	153	155	159
φ 40	143	141	141	143	146	148	153	153	160	163	156
φ 50	59	59	60	64	64	67	66	68	71	72	77
φ 75	73	72	73	72	73	73	71	72	72	72	72
φ 100	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	11
その他	8	5	7	9	7	5	14	25	30	21	26
合計	62,524	63,062	63,491	63,892	64,762	65,334	65,798	66,383	66,836	67,313	67,817

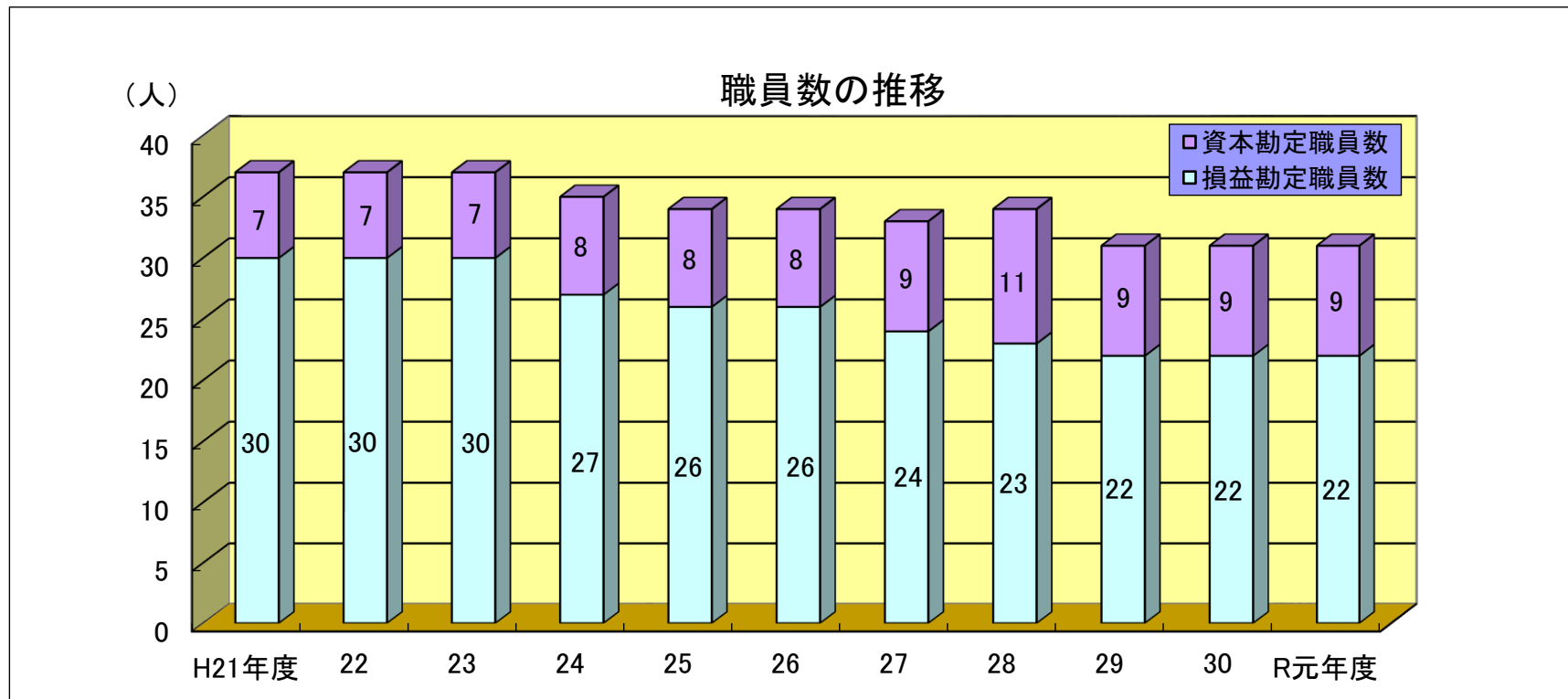
給水契約数(φ13・φ20)の推移



■ 職員数 ■

● 職員数の推移 ●

水道事業では事業効率化のため、人件費の抑制に努めています。



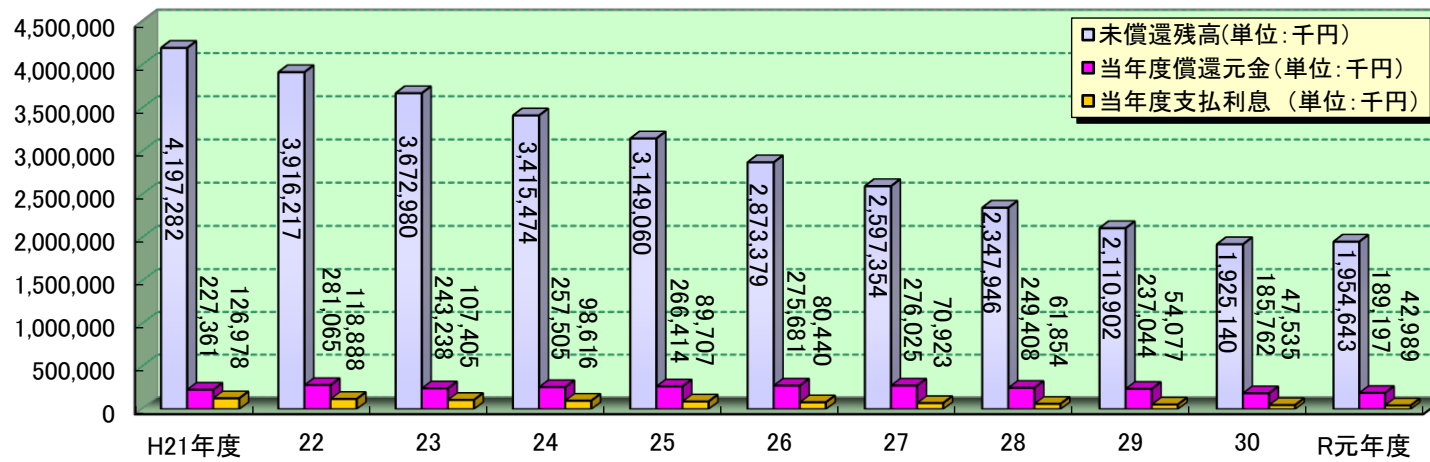
※ 水道事業管理者を除く。

■ 企業債(借入資金) ■

● 企業債(借入資金)とは・・・●

水道施設(配水場や浄水場)を新たに建設したり、配水管を布設するなどの建設改良事業に要する資金に充てるために借りるお金のことをいいます。

企業債(借入資金)の推移



● 未償還残高とは・・・●

年度末において、まだ返済していない借入金の合計残高のことをいいます。

● 当年度償還元金とは・・・●

その年度に返済した元金のことをいいます。

● 当年度支払利息とは・・・●

その年度に支払った借入金の利息のことをいいます。

■ 損益計算書 ■

● 損益計算書とは・・・●

一定期間における企業の経営成績を明らかにするための報告書のことをいいます。

令和元年度入間市水道事業損益計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円、税抜)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	2,388,146,954		
	(2) その他の営業収益	164,131,931	2,552,278,885	
2	営業費用			
	(1) 原水及び浄水費	1,026,627,100		
	(2) 配水費	290,012,854		
	(3) 給水費	83,817,911		
	(4) 委員会費	111,228		
	(5) 業務費	137,723,636		
	(6) 総係費	81,056,030		
	(7) 減価償却費	835,449,633		
	(8) 資産減耗費	54,420,605	2,509,218,997	
	営業利益			43,059,888
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	6,375,450		
	(2) 長期前受金戻入	331,555,612		
	(3) 雑収益	2,450,542	340,381,604	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	42,988,823		
	(2) 雑支出	6,908	42,995,731	297,385,873
	経常利益			340,445,761

5	特別利益			
	(1) 過年度損益修正益	<u>67,068</u>	67,068	
6	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	128,650		
	(2) その他特別損失	<u>2,622,258</u>	<u>2,750,908</u>	<u>△ 2,683,840</u>
	当年度純利益			<u>337,761,921</u>
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>389,197,313</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>726,959,234</u></u>

■ 貸借対照表 ■

● 貸借対照表とは・・・ ●

一定時点における企業の財政状態を明らかにするための報告書のことをいいます。

令和元年度入間市水道事業貸借対照表

(令和2年3月31日)

(単位：円、税抜)

資	産	の	部						
1	固定	資産							
(1)	有形	固定	資産						
イ	土地							1,459,753,206	
ロ	建物			1,994,338,808					
	減価償却累計額			△ 1,009,280,804				985,058,004	
ハ	構築物			30,805,411,679					
	減価償却累計額			△ 13,611,076,698				17,194,334,981	
ニ	機械及び装置			5,139,648,411					
	減価償却累計額			△ 3,185,523,534				1,954,124,877	
ホ	車両運搬具			33,182,964					
	減価償却累計額			△ 30,673,547				2,509,417	
ヘ	工具器具及び備品			138,366,208					
	減価償却累計額			△ 87,027,734				51,338,474	
ト	建設仮勘定							103,617,739	
	有形固定資産合計							21,750,736,698	
(2)	無形	固定	資産						
イ	電話加入権							654,000	
	無形固定資産合計							654,000	
	固定資産合計							21,751,390,698	

2	流動資産			
	(1) 現金預金		3,345,898,720	
	(2) 未収金	65,786,531		
	貸倒引当金	<u>△ 2,038,000</u>	63,748,531	
	(3) 有価証券		300,000,000	
	(4) 貯蔵品		27,582,873	
	(5) 前払金		<u>189,600,000</u>	
	流動資産合計			<u>3,926,830,124</u>
	資産合計			<u><u>25,678,220,822</u></u>
負	債	の	部	
3	固定負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,753,844,957	
	(2) 引当金			
	イ 修繕引当金		<u>26,575,479</u>	
	固定負債合計			1,780,420,436
4	流動負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		200,797,094	
	(2) 未払金		299,402,135	
	(3) 引当金			
	イ 賞与引当金	17,788,000		
	ロ 法定福利費引当金	3,304,000	21,092,000	
	(4) 預り金		<u>125,162,747</u>	
	流動負債合計			646,453,976
5	繰延収益			
	(1) 長期前受金		15,931,606,637	
	(2) 長期前受金収益化累計額		<u>△ 8,799,712,530</u>	
	繰延収益合計			<u>7,131,894,107</u>
	負債合計			<u>9,558,768,519</u>

資	本	の	部		
6	資	本	金		
	(1)	自	己	資	本
		金			14,076,035,379
		資	本	金	合
		計			14,076,035,379
7	剩	余	金		
	(1)	資	本	剩	余
	イ	受	贈	財	産
		評	価	額	150,330,024
	ロ	寄	附	金	334,129,996
	ハ	浄	水	分	与
		補	償	金	1,820,000
	ニ	工	事	負	担
		金			71,831,814
	ホ	他	会	計	負
		担	金		237,000,132
	ヘ	水	道	利	用
		加	入	金	439,628,711
	ト	国	庫	補	助
		金			22,521,689
		資	本	剩	余
		金	合	計	1,257,262,366
	(2)	利	益	剩	余
	イ	減	債	積	立
		金			59,195,324
	ロ	当	年	度	未
		処	分	利	益
		剩	余	金	726,959,234
		利	益	剩	余
		金	合	計	786,154,558
		剩	余	金	合
		計			2,043,416,924
		資	本	合	計
					16,119,452,303
		負	債	資	本
		合	計		25,678,220,822

■ キャッシュ・フロー計算書 ■

● キャッシュ・フロー計算書とは・・・ ●

一定期間におけるキャッシュ(現金や容易に換金可能な預金など)の増減を示した計算書のことをいいます。

令和元年度 入間市水道事業会計キャッシュ・フロー計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：円)

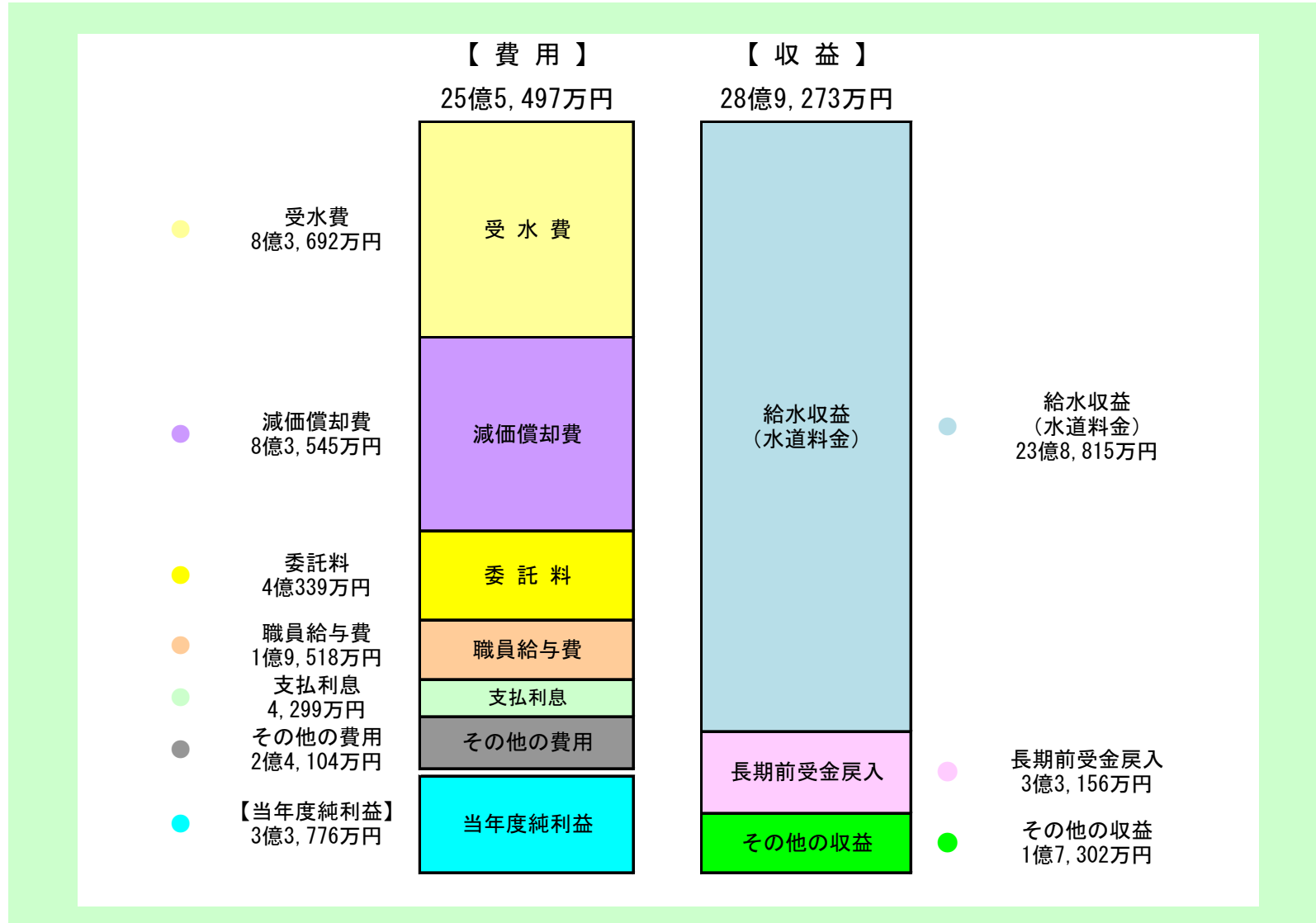
1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	337,761,921
	減価償却費	835,449,633
	固定資産除却費	31,750,605
	賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 531,000
	法定福利費引当金の増減額(△は減少)	△ 245,000
	貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 323,000
	長期前受金戻入額	△ 331,555,612
	受取利息	△ 6,375,450
	支払利息	42,988,823
	未収金の増減額(△は増加)	△ 347,519
	未払金の増減額(△は減少)	△ 50,417,120
	貯蔵品の増減額(△は増加)	1,070,870
	預り金の増減額	4,785,825
	小計	864,012,976
	利息の受取額	6,375,450
	利息の支払額	△ 42,988,823
	業務活動によるキャッシュ・フロー	827,399,603

2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 1,015,991,382
	有価証券の取得による支出	△ 300,000,000
	国庫補助金等による収入	113,162,478
	一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	11,200,000
	投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 1,191,628,904</u>
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	218,700,000
	建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△ 189,197,313</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	29,502,687
	資金増加額（又は減少額）	△ 334,726,614
	資金期首残高	3,680,625,334
	資金期末残高	<u>3,345,898,720</u>

■ 収益的収支の状況（損益計算に関する収支の状況）【税抜】 ■

● 収益的収支とは・・・ ●

収益的収支とは、予算事項のひとつである収益的収入及び支出で、水道事業の経営活動によって発生する収入とこれに対応する支出をいいます。収益的収入及び支出は、消費税込みで表示されますが、実質的な経営成績を表示するため、ここでは消費税抜きの金額である収益、費用を計上しました。

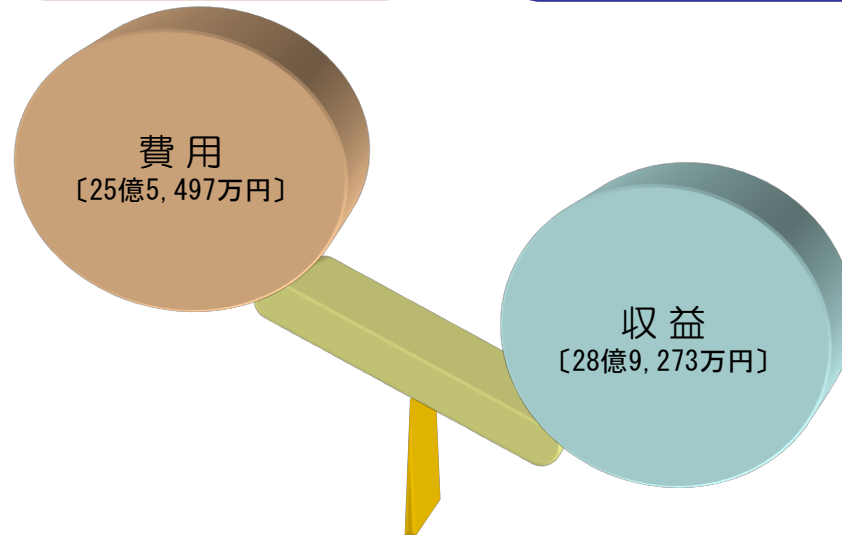


費用とは…

- ・収益を得るために必要となった支出。
- ・入間市では受水費と減価償却費の割合が高くなっています。

収益とは…

- ・水道事業の経営活動から生じる収入。
- ・水道料金の収入(給水収益)が大部分を占めています。



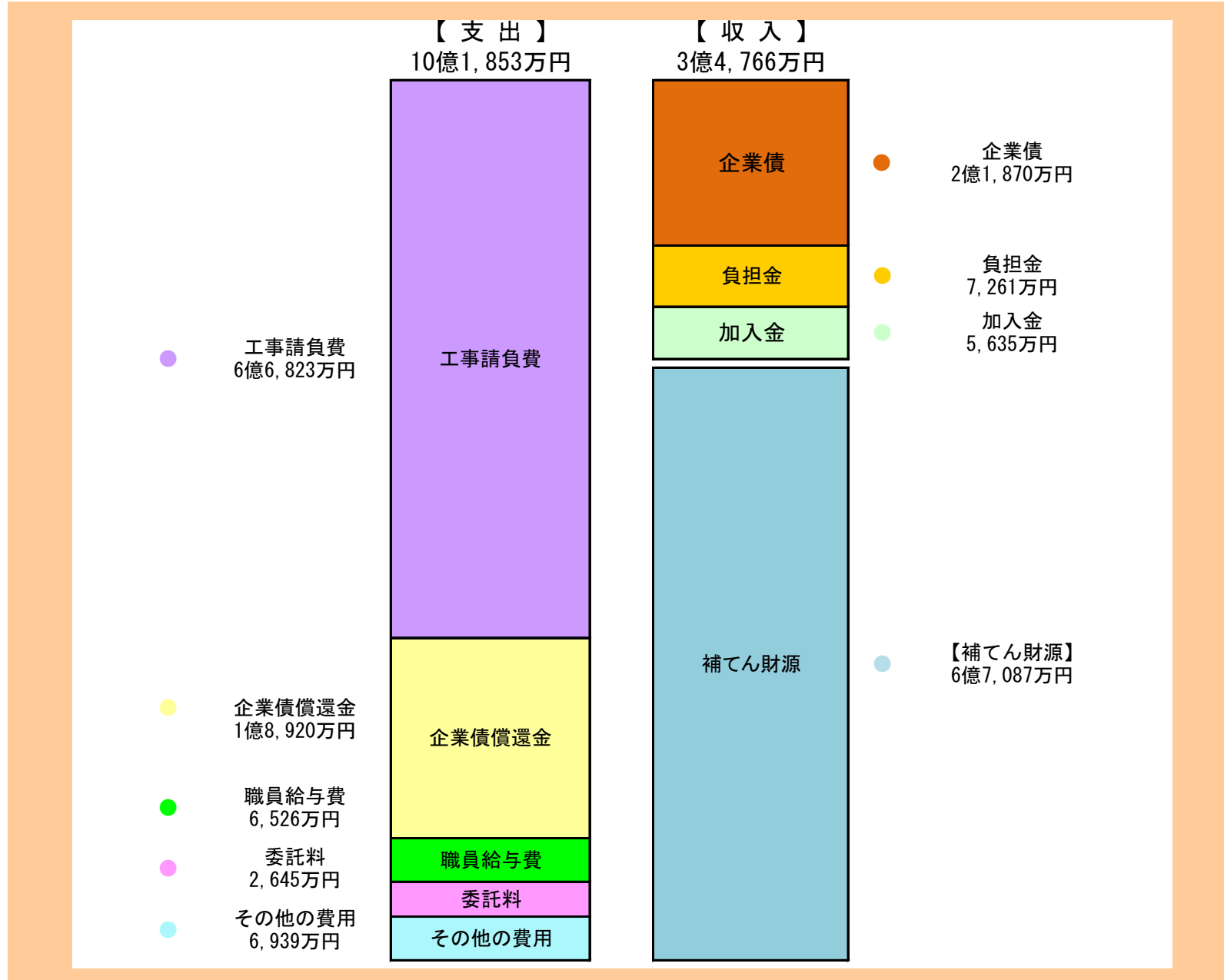
損益収支
令和元年度決算は 約3億3,776万円の黒字となりました。

■ 資本的収支の状況（建設改良に関する収支の状況）【税込】 ■

● 資本的収支とは・・・●

資本的収支とは、予算事項のひとつである資本的収入及び支出で、将来における経済活動に備えて行う建設改良や、この建設改良に係る企業債の償還元金等の支出と、その財源となる収入を表しています。

不足する額は、内部に貯えられた資金など(補てん財源)で補われます。



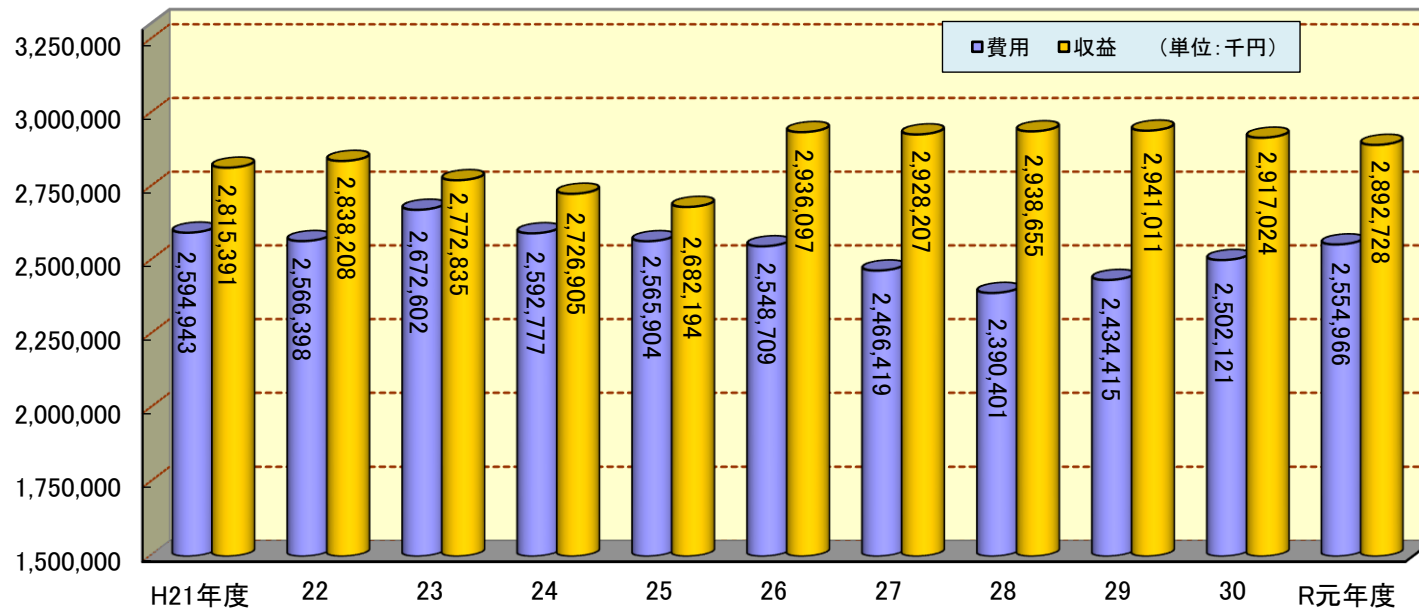
■ 収益と費用【税抜】 ■

● 収益とは … ●

水道事業の経営活動から生じる収入です。

● 費用とは … ●

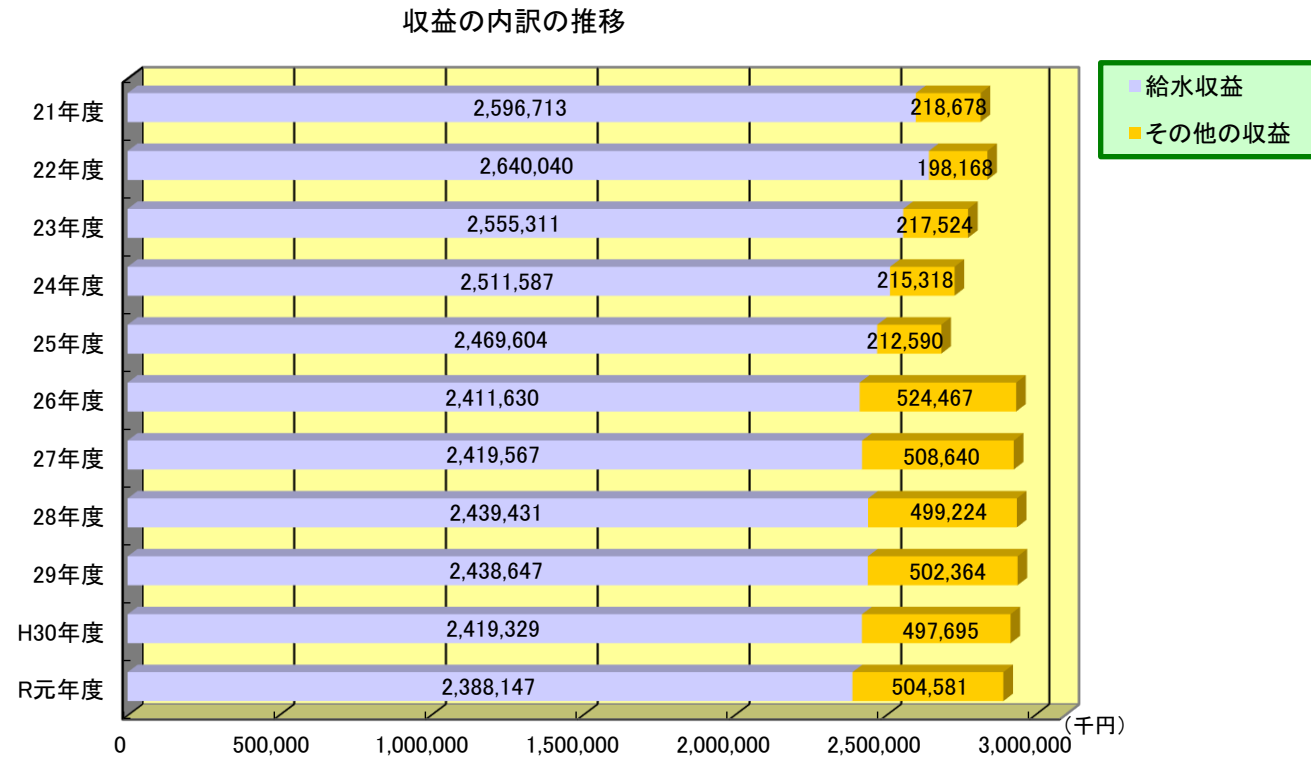
収益を得るために必要となった支出です。



■ 収益の内訳 ■

● 収益の内訳 ●

総収益に対する主な収益の構成は下のグラフのとおりです。



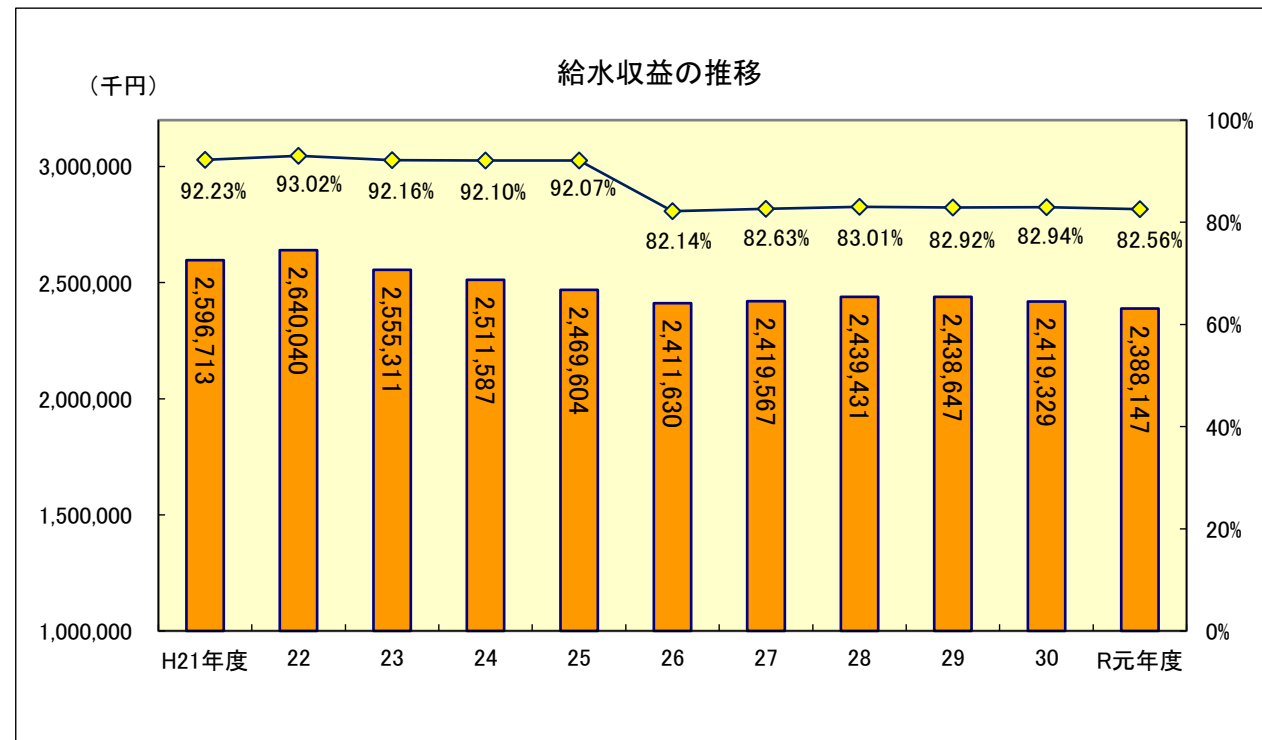
■ 給水収益(水道料金収入) ■

● 給水収益(水道料金収入)とは・・・ ●

給水収益とは、使用者のみなさまからお支払いただく水道料金のことをいいます。

この水道料金によって水道水を供給する施設の改良や維持のための諸経費がまかなわれ、水道事業が成り立っています。

なお、比率(%)は、総収益に対する比率を表しています。



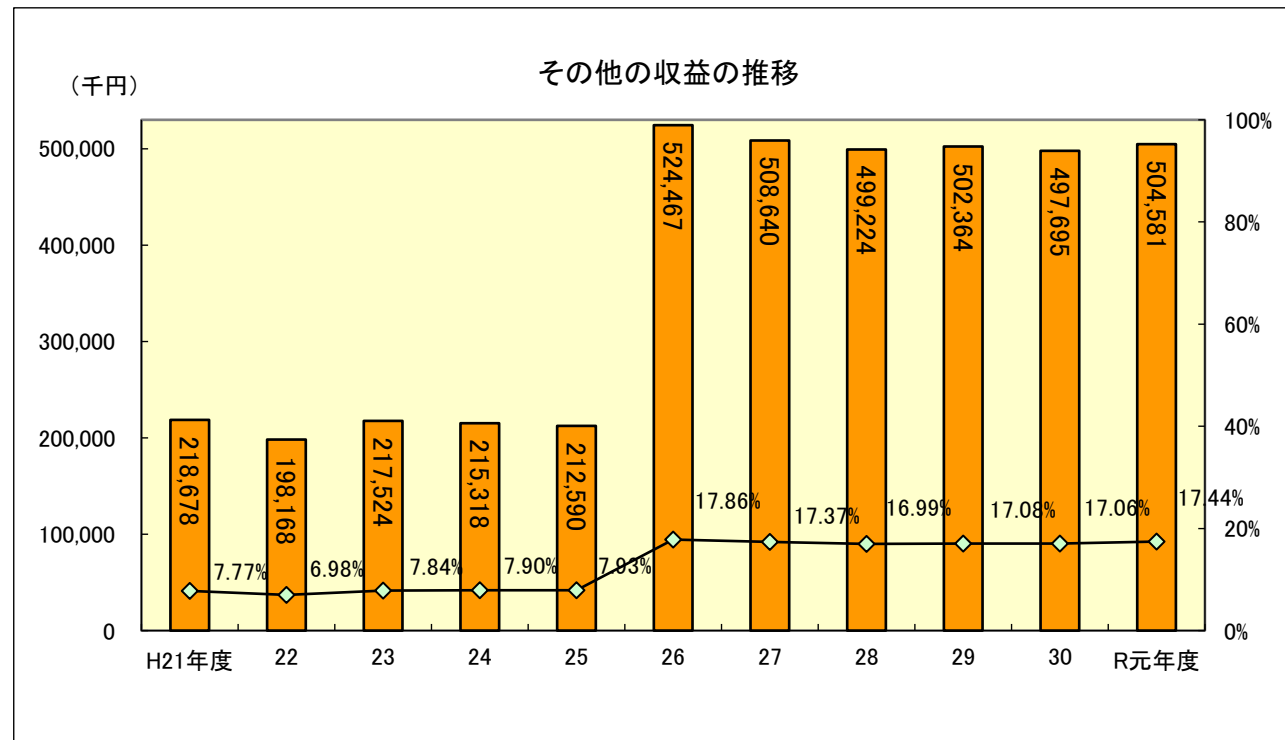
■ その他の収益 ■

● その他の収益とは・・・ ●

給水収益(水道料金収入)以外の収益で、水道利用加入金、手数料などがあります。

なお、平成26年度から新会計基準適用に伴って長期前受金戻入が計上されるようになりました。

比率(%)は、総収益に対する比率を表しています。



■ 費用の内訳 ■

● 費用の内訳 ●

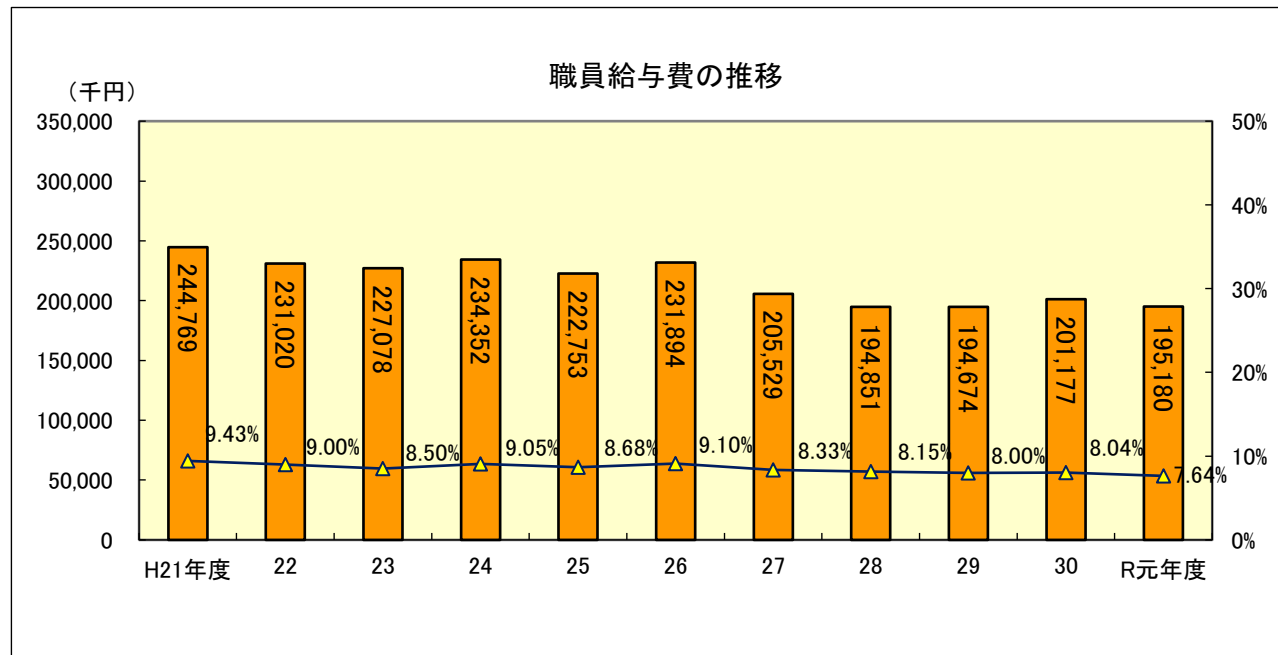
総費用に対する主な費用の構成は下のグラフのとおりです。

なお、以下、費用に関する比率(%)は、総費用に対する比率を表しています。

■ 職員給与費 ■

● 職員給与費とは・・・ ●

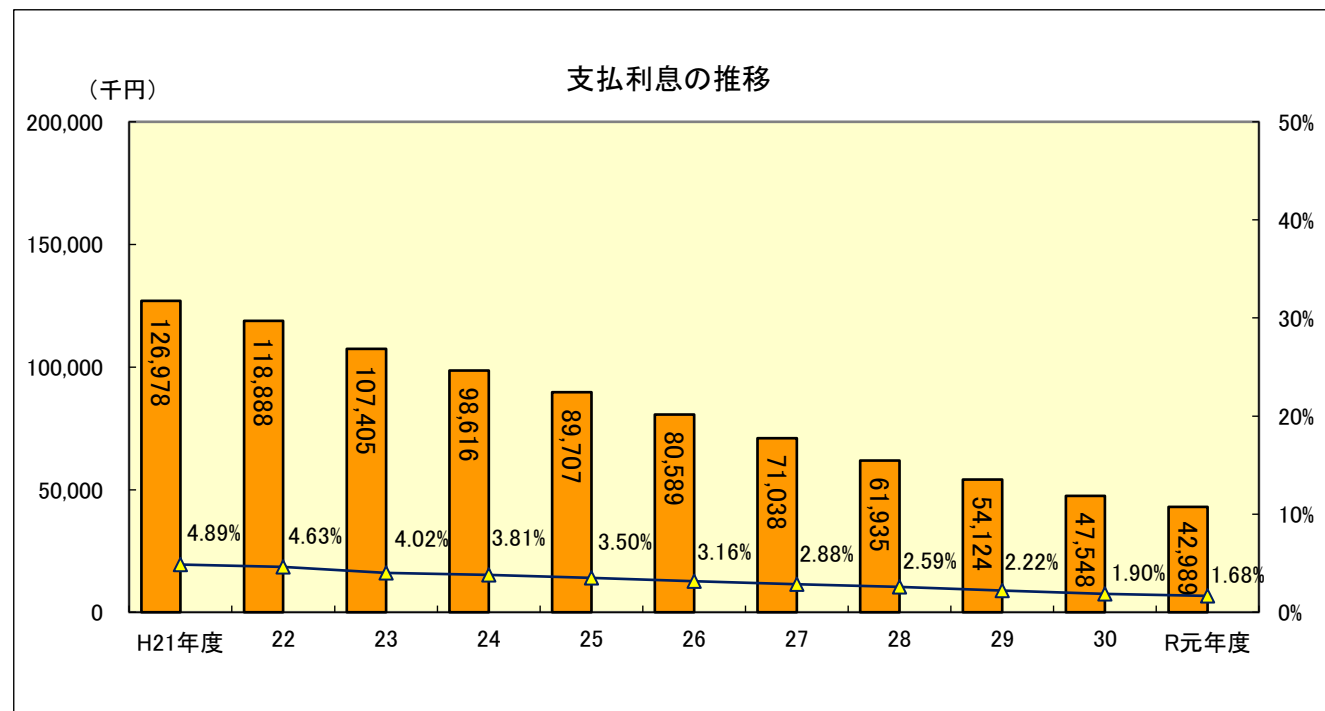
職員に支給される報酬を給与といい、給料と諸手当等から構成されています。



■ 支払利息 ■

● 支払利息とは・・・ ●

企業債(借入資金)について支払う利息のことをいいます。



■ 減価償却費 ■

● 減価償却費とは・・・ ●

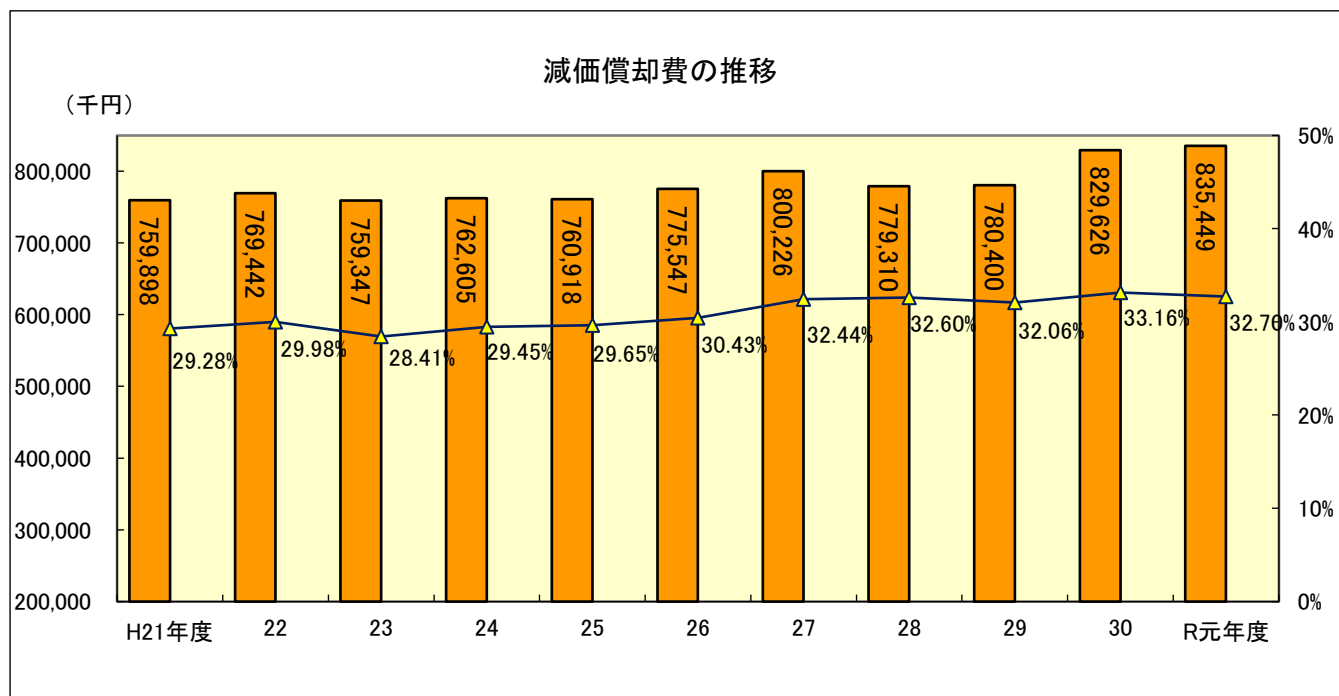
水道事業を経営するためには、送配水管、機械設備など設備投資に莫大な費用がかかります。

減価償却費は、この水道設備等の寿命に応じて費用とするものです。

入間市は、起伏に富んだ地形のため、お客様のお宅に水を送るためには、常に機械で水圧をかけ続けなければなりません。

このため、平坦な地形の他市町村に比べ、水道設備がより多く必要になる傾向があります。

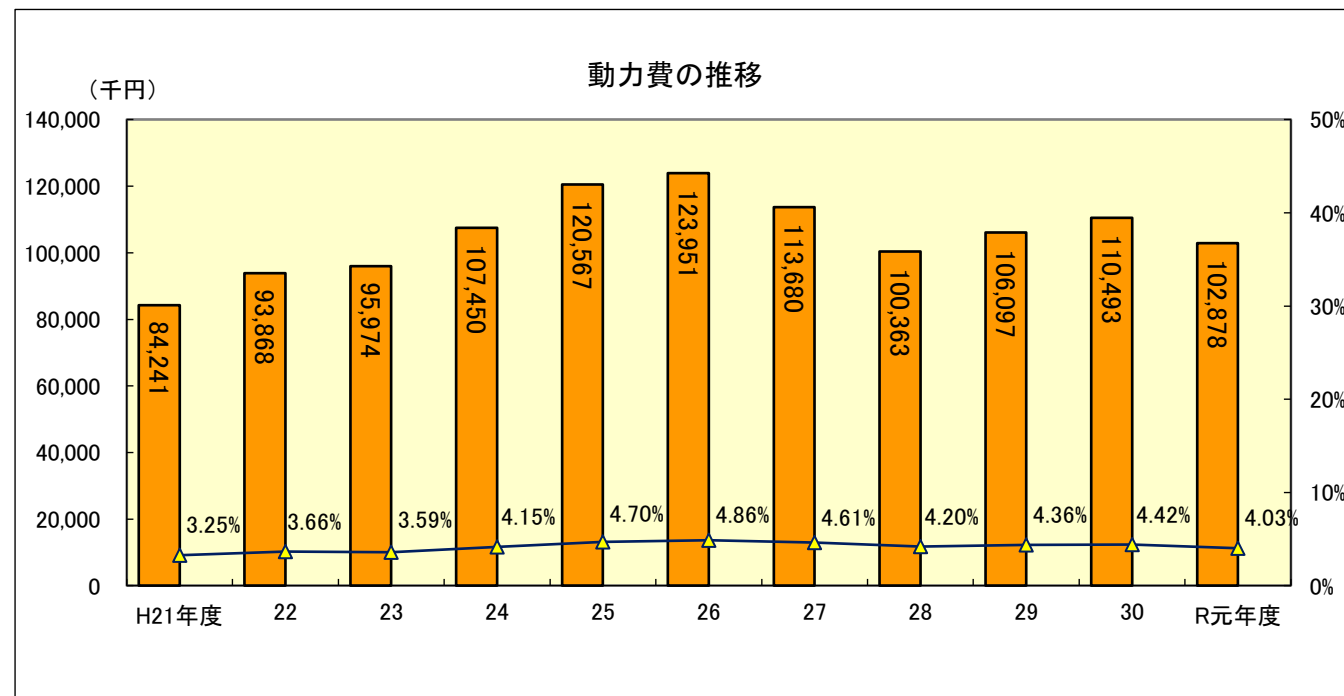
また、入間市の水道事業が、町村合併を経て、低い地域(鍵山浄水場)から次第に高い地域へ拡大普及していったことも設備投資の増大を招く大きな要因になっています。



■ 動力費 ■

● 動力費 とは … ●

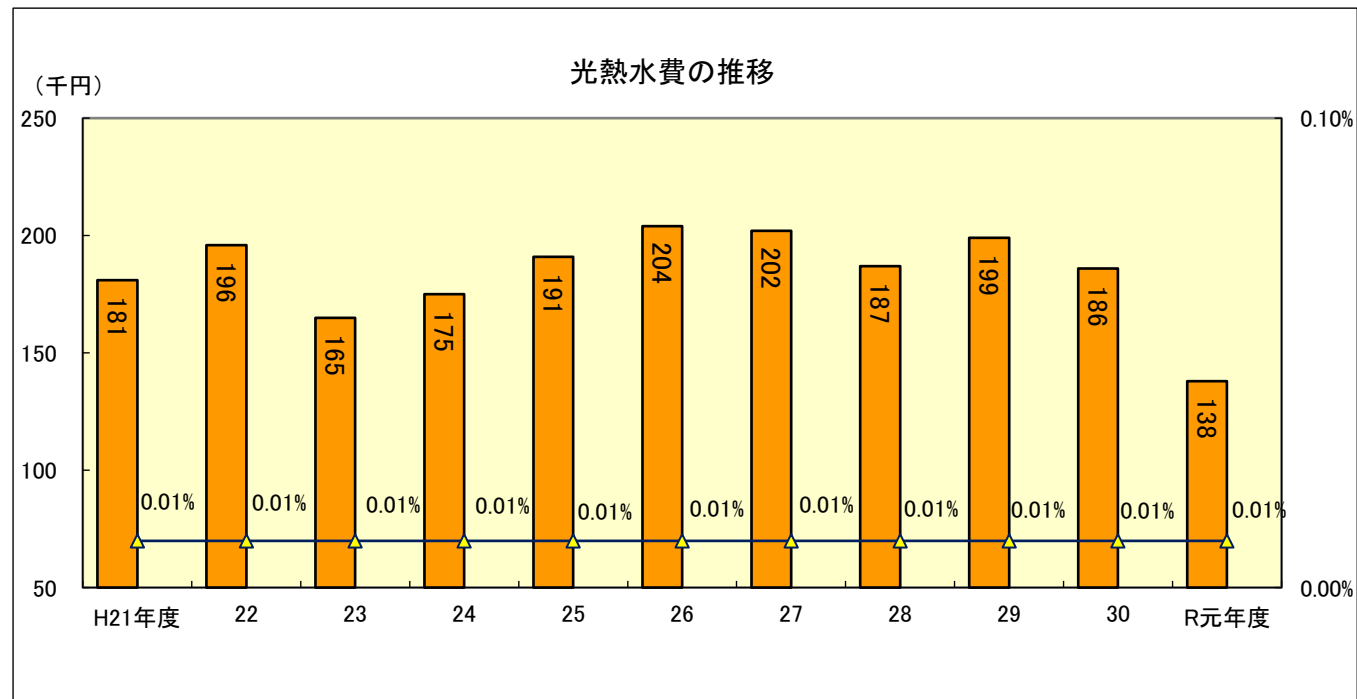
水道施設の機械装置等の運転に必要な電力料などのことをいいます。



■ 光熱水費 ■

● 光熱水費とは・・・ ●

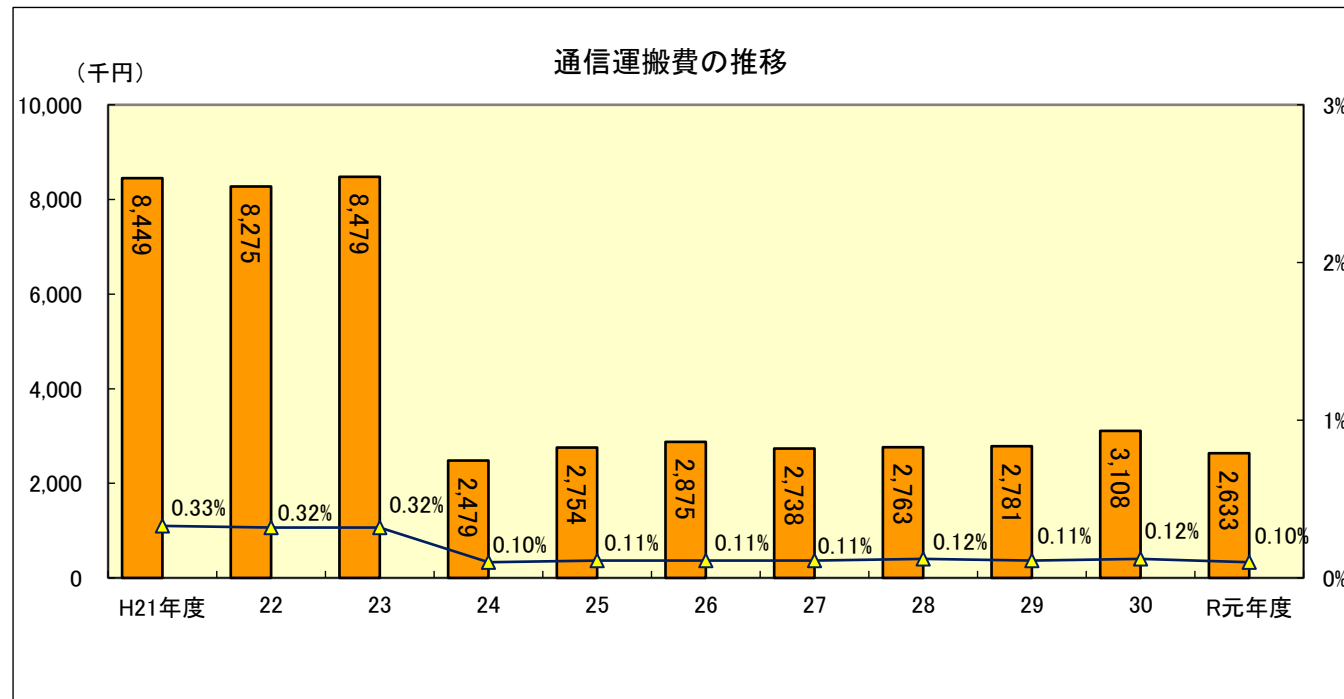
水道事業を経営するための電気使用料やガス使用料のことをいいます。



■ 通信運搬費 ■

● 通信運搬費とは・・・ ●

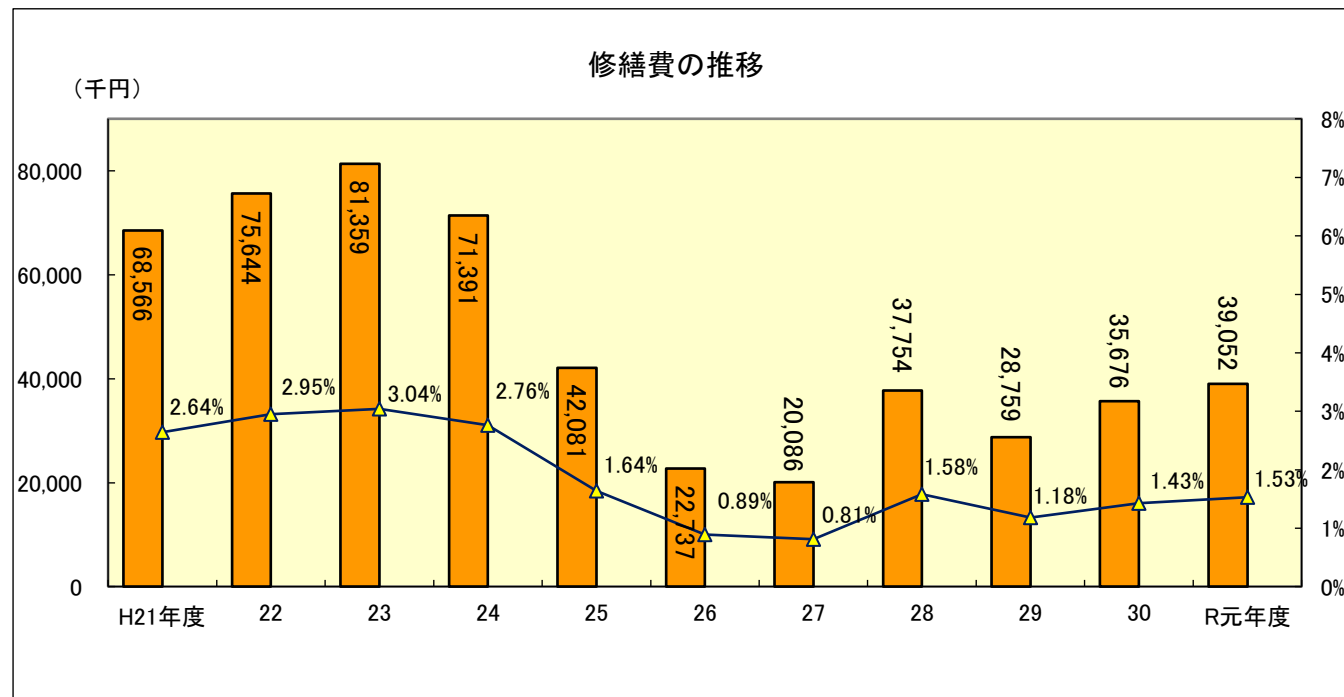
水道事業を経営するための郵便料・電信電話料などのことをいいます。



■ 修繕費 ■

● 修繕費とは・・・ ●

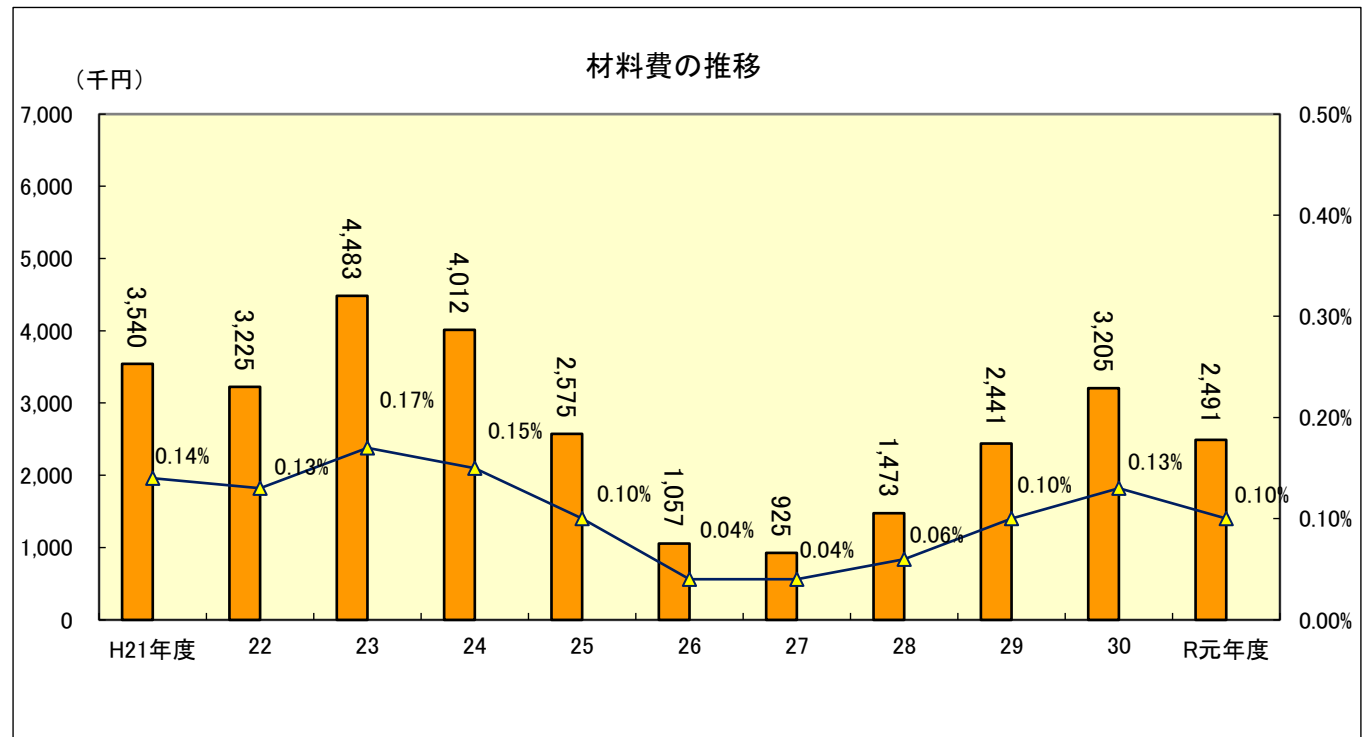
水道施設(ポンプなど)の維持修繕に要する費用のことをいいます。



■ 材料費 ■

● 材料費とは・・・●

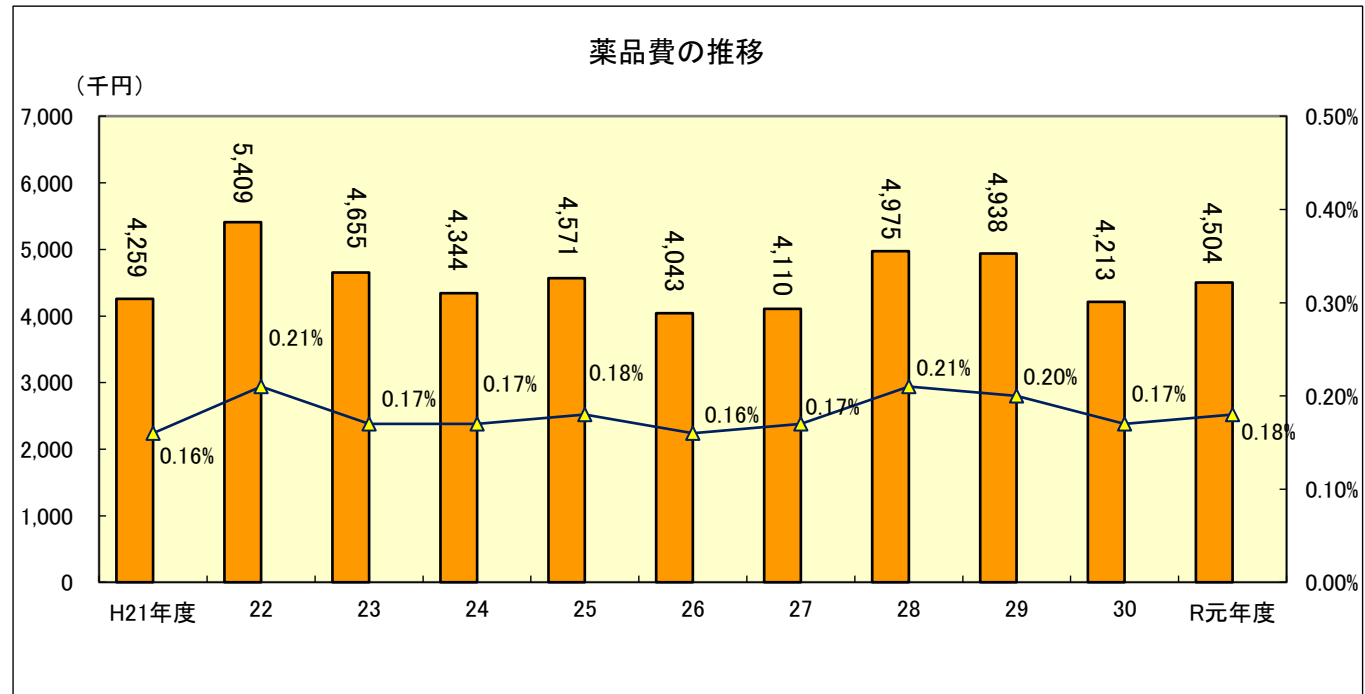
水道施設(配水管など)の維持及び作業に要する材料費のことをいいます。



■ 薬品費 ■

● 薬品費とは・・・●

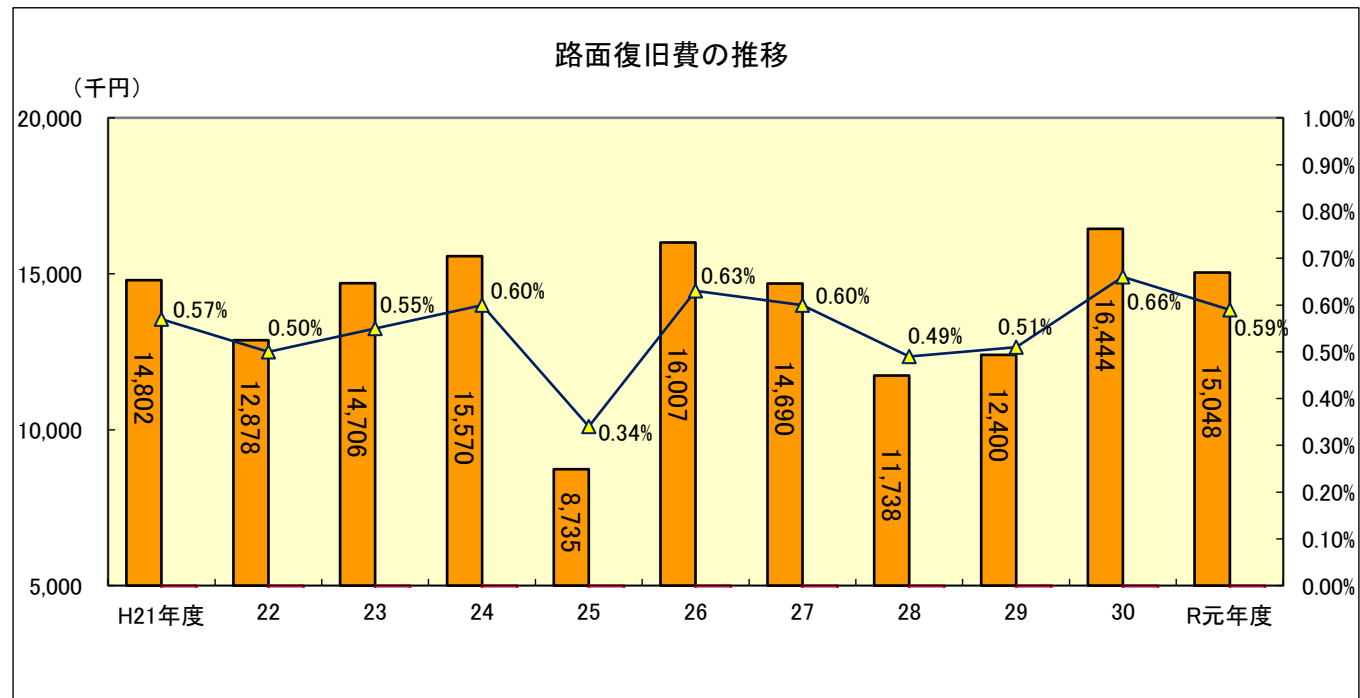
浄水場において川から汲み上げた水を飲料水にする行程で使用したり、配水場で安全な水をお届けするための水質管理などに要する薬品の費用のことをいいます。



■ 路面復旧費 ■

● 路面復旧費とは・・・ ●

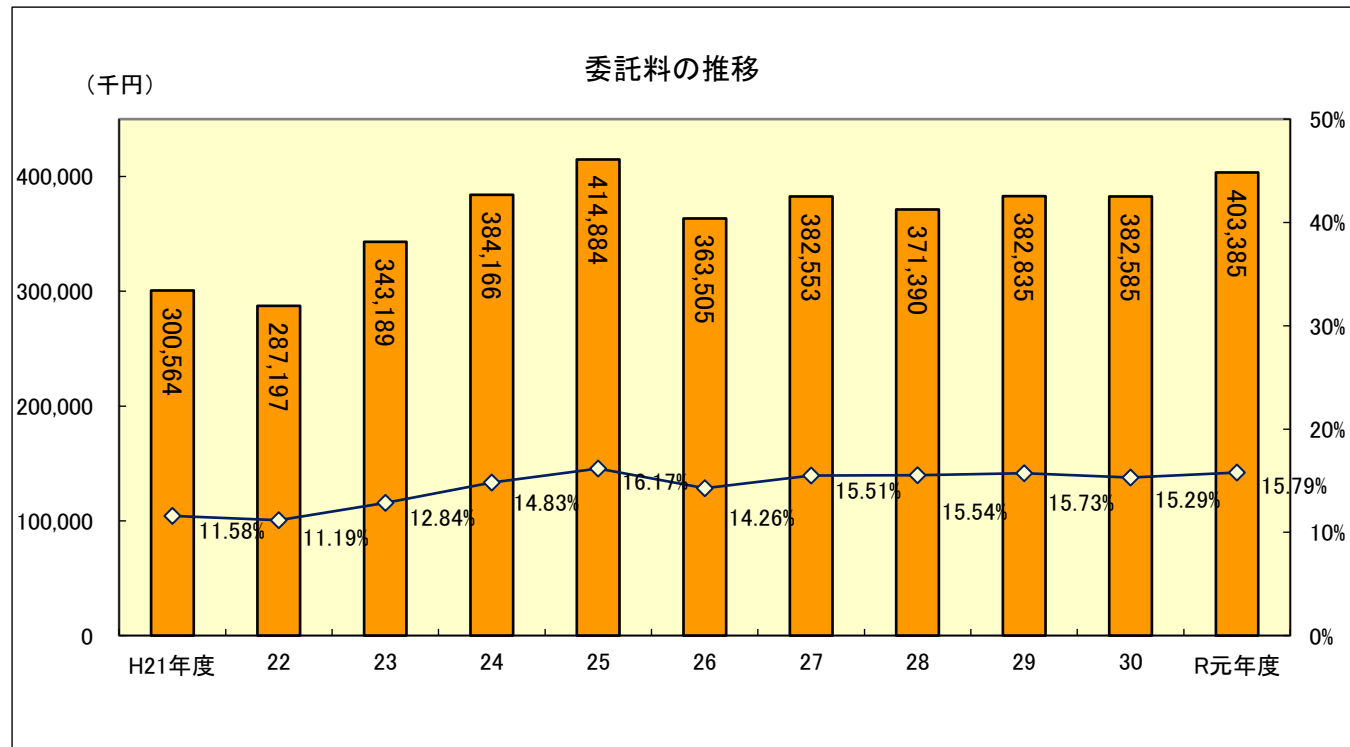
漏水修理等による道路の本復旧に要する費用のことをいいます。



■ 委託料 ■

● 委託料とは・・・●

水道事業を経営するための事務や業務などを外部に依頼し、その対価として支払う代金のことをいいます。



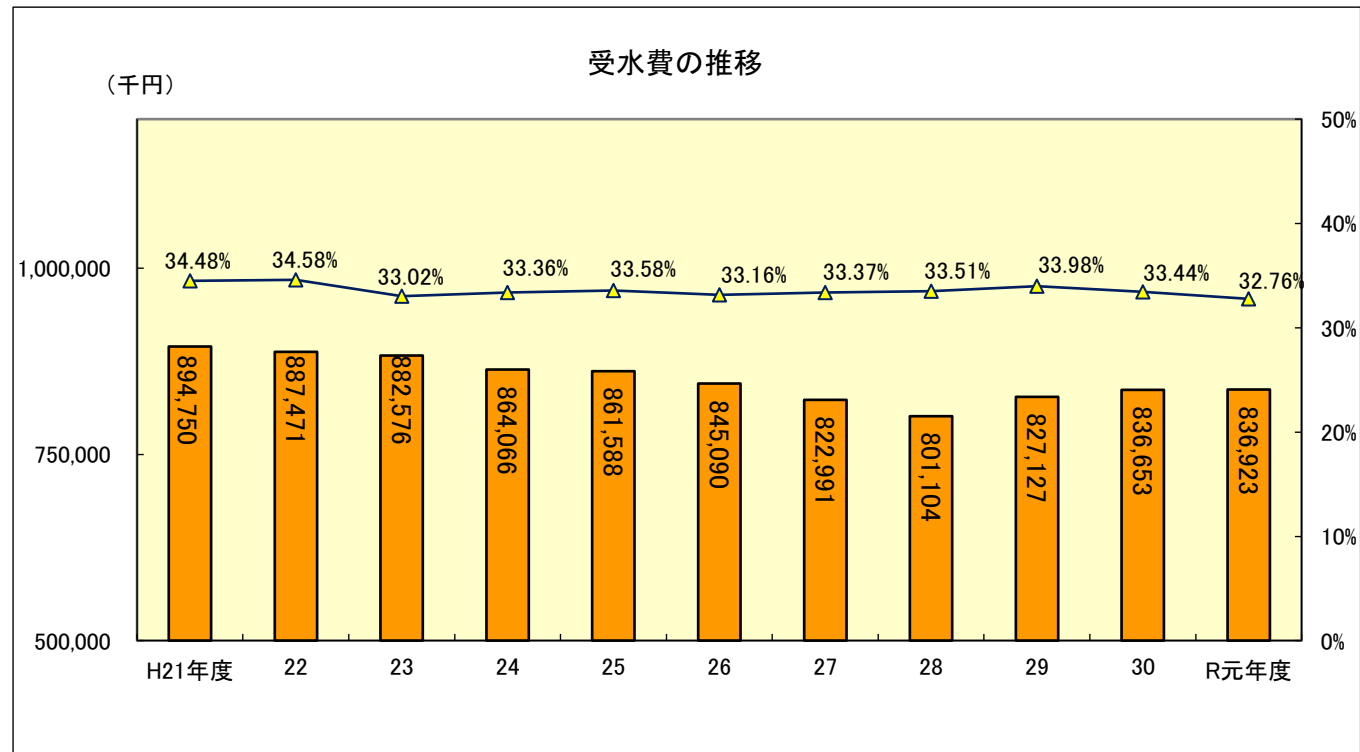
■ 受水費 ■

● 受水費とは・・・●

埼玉県営水道から買った水道水の代金のことをいいます。

入間市では、お客様にお届けしている水道水の大部分(80%以上)が埼玉県から買った水で占められています。

他市と比べ水源が少なく、県水(埼玉県がつくる水)への依存度が高いといえます。



■ その他の費用 ■

● その他の費用とは・・・ ●

総費用のうち、次の費用以外の費用のことをいいます。

職員給与費 ・ 支払利息 ・ 減価償却費 ・ 動力費 ・ 光熱水費 ・ 通信運搬費 ・ 修繕費 ・ 材料費 ・ 薬品費
路面復旧費 ・ 委託料 ・ 受水費

